

基本目標 「地域にも観光客にもあたたかい、さとやま民泊」

基本方針1 地域人材の育成と主体的活動への支援・連携

- ◇さとやま民泊のコンテンツ提供事業者、地域の旅行会社、受入地域住民が主体的に活動できるよう、地域への支援を行います
- ◇地域事業者が中心に情報発信などを行うことができるよう常に地域の主体性を意識した支援を行います

目標指標1 さとやま民泊コンテンツ提供事業者数（件/年）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	未設定	45	55	58	61
実績値	—	41	53	56	—

基本方針2 都市部住民、国内外観光客との交流促進

- ◇さとやま民泊を通じて、都市部住民・国内外の観光客の東部地域での交流、滞在を促進します。
- ◇交流によって、地域の食文化の継承や地域産農産物の消費拡大を促進します。
- ◇広報ツールの見直しを行うほか、デジタル媒体での広報活動を行います。

目標指標2-1 連携協定先による誘客数（人/年） （ツアー以外に宿泊、体験、食事のみの利用者も含む）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	未設定	20	100	180	200
実績値	—	16	93	21	—

目標指標2-2 東部地域ポータルサイト「ならのはる」月平均閲覧数（件/月）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	未設定	1,050	4,600	4,750	10,000
実績値	—	1,024	5,716	※8,970	—

※サイト移行に伴い、令和3年度の閲覧数実績値は12月末までの平均

基本方針3 農村地域の持続可能性

- ◇各地区の課題に沿った「さとやま民泊」を支援します
- ◇地域住民だけでなく、奈良市全体として農村地域のもつ多面的機能への理解を促進させ、農村地域の持続可能性について検討します

取組（例）

- ・公共交通（交通イワ）の検討：デマンド交通やボランティア輸送、公共交通空白地有償運送など
- ・空き家の利活用：空き家バンクへの積極的な登録推進や家主不在型の住宅宿泊事業（いわゆる不在型民泊）、お試し移住等
- ・耕作放棄地の有効利用や鳥獣害対策、名勝指定月瀬梅林の保全、どぶろく特区の推進など

